

特別支援学級国語科学習指導案

児童 計4名

指導者 ○ ○ ○ ○

1 単元名 ことばとなかよくなるうⅡ

ビデオレターをだそう

2 単元について

(1) 児童について

本学級には、(中略) 4名が在籍している。2学年合同での国語の学習は、5月末から週1時間行っている。合同国語以外では、それぞれに国語・算数(3年生は理科・社会の一部も)を特別支援学級で学習するが、生活全般の母体は交流学級にある。

国語の学習において、3年生は、音読や文章の読み取りの学習が可能である。1学期教材「ありの行列」(説明文)では、文章の大体を読み取って、紙芝居に表現する活動を行った。1年生は、入門期の指導を中心に進め、五十音の読み書きができるようになった。「大きなかぶ」の音読練習に進んで取り組み、拾い読みでなく語のまとまりをとらえて読めるようになってきている。また、読書が好きで本に親しんでいる。

合同の学習では、年間を通し、「ことばとなかよくなるう」というテーマを掲げている。1学期は、「なにが」「どうする」を意識させ、「とりが とぶ」といった文づくりを行い、「かるたをつくって遊ぼう」という活動を楽しむことができた。しかし、日常の会話や日記などは、単語だけだったり主述の関係が整わなかったりする。

何分学年差があり、2学年一緒に学習を進めることには難しい一面もあるが、個々の児童に応じながら学習を進めていきたいと考える。

本単元にかかわる児童の実態については、日常の観察から次のようにとらえた。

児童	(言語事項「発音・発声」「文字」 読むこと「語や文としてのまとまり」 話すこと・聞くこと)
	略

--	--

(2) 単元について

「ことばとなかよくなるうⅡ」というテーマの下、「ビデオレターをだそう」という単元を構成した。

本単元は、特別支援学級の交流会があることを生かし、様々な言語活動を通して言葉を豊かにしていこうというねらいをもっている。それぞれの学年に応じた言語事項を教材に個に応じた言語活動を展開しながら、単元の終末には、「ビデオレターをだそう」という目的をもつことで、意欲を持続させていこうとするものである。

「自己紹介」をするための話題を考え、書く、読む、話す・聞く活動を取り入れながら主述が照応した文を書いたり話したりできることをきちんとおさえていきたい。

児童に相手意識をもたせ、どんなことを伝えたいのか、どのように話せば伝わりやすいかを理解させ、言葉のゲーム等を通して楽しみながら身につけるよう構成したい。

(3) 指導にあたって

指導にあたっては、交流会の楽しさが児童の印象に残るよう配慮し、単元の動機づけとしたい。他校の友達にメッセージを発信する目的とそのために必要な学習が意識づけられるように配慮したい。

これまでも、「おちたおちた」など言葉のゲームを取り入れ、「何が」「どうした」の意識づけに用いてきた。ゲームを応用させ、楽しみながらやりとりをすることによって、語いを豊かにしていきたい。さらに、個に応じた学習のねらいをもつことで必要な事項を身につけさせたい。

仮説に関わっては、仮説①「課題を明確にする工夫」として、「ビデオレターをだそう」という意欲づけをする。「ことばとなかよく」という単元のねらいを「言葉に親しみながら使い方を学ぶ」ことと押さえ、各時間の課題が「ビデオレター」で分かりやすく相手に伝わる話し方が向上するよう意識づけたい。

仮説③「言語能力を高める工夫」としては、〈はっきりした発音で話すこと〉〈主語と述語をきちんと照応させること〉〈丁寧な言葉遣い〉を重点において指導したい。児童の「話したい」という気持ちが膨らんでいくように、楽しい活動を工夫していきたい。

3 単元の目標

[目標]

- ◎ 自己紹介で伝えたい話題を考え、分かりやすく話そうとする。
- 話したり聞いたりして伝え合う楽しさを知る。

[関心・意欲・態度]

- ・ 言葉に関心をもち、友達とかかわりながら話したり聞いたりしようとする。

[話す・聞く]

- ・ 話したり聞いたりするときに話型に気をつける。

[書くこと]

- ・ 主語、述語に気をつけて文を作る。

[読むこと]

- ・ 語や文としてのまとまりに気をつけて声に出して読むことができる。

[言語についての知識・理解・技能]

- ・ 主語と述語の関係に気をつけることができる。
- ・ 口形に注意してはっきりした発音で話すことができる。

4 指導計画と評価規準（8時間 本時4／8）

次	時	学年	主な学習活動	関心・意欲 ・態度	話す・聞く 書くこと 読むこと	言語事項
一次	1	合同	○交流会のビデオや写真を見て、楽しかったことを話し合う。	体験したことを思い出し、話そうとする。 (観察)	【話・聞】 ・身近な事柄について順序を思い出しながら話す。(観察・発言)	
二次	2	3年	○前時を生かして単元の学習計画を立てる。	学習の見通しを持ち、ビデオレター作りに意欲をもつ。	【話・聞】 ・ビデオレターを見て、話されていることに興味をもって聞く。	
	1年	1年	○学習計画を知り、意欲をもつ。	つ。 (観察・発言)		
三次	3	3年	○「…は…です。」の文を話したり書いたりする。		【話・聞】 ・クイズ形式の問いに「それは、○○です。」の文を作る。	主語と述語を照合させる。(ノート)
		1年	○「…は…です。」の文を話したり視写したりする。		【書】 ・語と語の続き方に注意して書く。(ノート)	
	4 (本時)	合同	○「…は…です。」を基本に自己紹介で話す文作りをする。		【話・聞】 ・知らせたいことを選び、主述の関係に注意する。	主語と述語が照応した文を作る。 (発言、観察)
5	3年	○自己紹介で話したいことの原稿を書く。	伝えることを楽しんで活動する。(観察)	【書】 ・相手や目的を考えながら書く。		
	1年	○自己紹介で話したいことを短い文に書く。				

四 次	6	合同	○ビデオに撮り、 わかりやすい話 し方か考える。	【話・聞】 ・相手に分かるように 話す。 ・友達の話しているこ とに興味をもって聞く。	発音、口形、音量、 速さに気を付けて、 話す。 丁寧な言葉遣いに 注意して話す。 (観察)
	7	合同	○ビデオに撮る。		
	8	合同	○封筒に宛名や 自分たちの名前 を書く。		正しく丁寧に書く。 (封筒)

5 本時の指導

(1) 目標

- 3年生：自己紹介で知らせたいことを考え、「…は(が)…です。」を基本に文
を作ることができる。
- 1年生：「…は(が)…です。」の文を作ることができる。

(2) 具体の評価規準

	概ね満足できるめやす	支援の手だて
	・知らせたいことを決め、主述が照 応するように文にすることができる。	・知らせたいことと主語が相応している か確認した上で述語を選択させる。
	・相手意識をもち、知らせたいこと を考えて文にすることができる。	・知らせたい根拠を考えさせ、主述の照 応に気をつけさせるようにする。
	・主述が照応した文を作ることがで きる。	・できた文を読み返させる。 ・句読点に留意させる。
	・主述が照応した文を作ることがで きる。	・主語と述語の照応を確かめさせる。 ・…は、の助詞に留意させる。

(3) 展開 (4/8)

段	学 習 活 動	支援・留意点(・)評価(*)
つ か む 7 分	1 発音練習をする。 ・ 口形 ・ 五十音(北原白秋)	・ 元気よく声を出し、意欲を高 めていく。
	2 学習課題の確認 ① 本時の学習課題を確認する。 じぶんのことを おしえよう。 ② 活動の手がかりを確認する。 ・ …(ぼく)は、(が) …です。 ・ おしえる(しらせる)。 ③ 学習の流れを見通す。	・ 前時までを想起させ、本時の 課題につなげる。 ・ 「手がかり」については、「大 事な言葉」として、児童に意識 づける。
	3 「何は(が)…です。」の練習をする。 ・ 「ぼくは…です。」 ・ 名前、学年	・ ていねいな言葉遣いを意識さ せる。

ふかめる 33分	<p>4 知らせたいことを考えて、文をつくる。</p> <p>①知らせたいことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すきなたべもの ・家族 ・とくいなこと <p>②カードを組み合わせて文を作る。</p> <p>③できた文を各自音読する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の友達はどうなことを知りたいかを考えさせる。 ・自分だったら相手の友達のどんなことを知りたいか考えさせる。 ・言葉と言葉のつながりを自分で確認させる。 ・ペアで交換して読んでみる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">* 具体の評価規準に準じて個別に評価</div>
まとめる 5分	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>①できた文をみんなで音読する。</p> <p>②感想を話す。</p> <p>6 次時の予告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文をカードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい文を作ることが出来たこと ・学習の意欲や態度を評価する。 ・ビデオレターの録画を楽しみしながら分かりやすく話す意欲を持たせる。

6 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">なにが (語群カード)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">どんなだ (語群カード)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">知らせたいこと</div>	<table style="border-collapse: collapse; margin: auto;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">おしえる</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ぼく</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">なにが、</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">です。</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">しらせる</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	おしえる	ぼく	なにが、	↓		です。	しらせる			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100%;"> <p>○ じぶんのことをおしえよう</p> <p>ビデオレターをだそう</p> </div>
おしえる	ぼく	なにが、									
↓		です。									
しらせる											